



月刊税理士事務所チャンネル

# CHANNEL

2015  
**1**  
No.401

## 「第39回全国統一研修会・中部大会 in 名古屋」開催報告 ..... 6

ミロク会計人会連合会  
役員 新年のご挨拶 ..... 2

ミロクシステムQ&A  
『ACELINK NX-Pro法定調書(よくあるお問い合わせ)』 ..... 16

ミロク情報サービス代表取締役社長  
是枝周樹 新年のご挨拶 ..... 5

# 2015 初春

ミロク会計人会役員

## 新年の挨拶



ミロク会計人会連合会  
会長 平川 忠雄

新年おめでとうございます。ミロク会計人会の会員の皆さまにおかれましては、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成27年度税制改正大綱の公表が新年に持ち越されることになり、改正事項の具体的内容はこちらから詳しく掌握することになります。予想される大綱のテーマとしては、消費税の軽減税率導入の如何、法人税課税ベースの見直しと税率の引き下げを含む抜本的改革、NISAの拡充としての非課税投資枠の拡充・子供版NISAの新設などの内容が盛り込まれるとされています。また、消費税率引き上げ延期の影響による地方法人特別税の縮減、地方法人税の拡充の見送りなどが明確になります。

「全化と法人税負担の在り方等」に今後の課題が存在しています。関与先企業の経営状況に大きく影響する税制の大きな改革が進められることが確実となった本年以降においては、経営アドバイスを担う会員先生方の事務所運営にとって極めて重要な1年が開始いたします。また、一昨年に画期的見直しとなされた事業承継税制が本年より全面的に適用されます。より多くの中小企業に使い勝手の良い改正事項が適用されます。景気変動などが予測される本年、心強い承継税制のさらなる有効活用の指導が税理士事務所の大きな使命となる年であります。

ミロク会計人会と株式会社ミロク情報サービスは共に全面的に協力してまいり所存であります。経済社会の中枢に位置する税理士の先生方のご活躍とご健勝を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



北海道会会長  
井内 敏樹

新年おめでとうございます。皆さまにおかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年1月1日より相続税の基礎控除の引き下げなどによる大幅な増税が始まります。事業者だけでなく相続税の相談、申告などを通じて一般の市民との接触も多くなることと思います。適切な対応を行い、我々の業務の拡大にもつなげていければと思います。

北海道だけでなく多くの地域では、景気はまだまだ十分な回復には至っていないと思います。その中で私達は税務や会計の専門家であるだけでなく、経営相談業務や事業承継のお手伝いなど、中小企業の経営全てに係わるインフラと言っても過言ではない存在です。私達の業務能力を高め、それぞれの地域で中小企業の発展のためにますます努力していく必要があります。また、それが地域、ひいては日本の活性化につながっていくのだと思います。あらためて私達の業務の重要性と責任を自覚して活動していかなければならないのではないのでしょうか。

全国各地の会員の先生方の本年のますますのご活躍と被災した東日本の復興をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



東北会会長  
福嶋 朗

新年おめでとうございます。会員の先生方におかれましては、ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。

我々税理士を取り巻く環境として、今年から相続税の基礎控除引下げが実施されます。それに伴い、申告納税者の増加が予想され、税理士としての仕事の責任がますます重くなつてきます。そのためには絶え間ない自己研鑽が要求され、その際のツールとして、MJSのソフトを大いに活用したいと考えております。注目の消費税につきましては、再増税は延期しましたが、次期増税の折には軽減税率導入が見込まれております。その恩恵が富裕層ほど大きくなることや、課税現場の混乱など、到底容認したい制度ですので断固反対する所存です。それ以外にも外形標準課税導入、繰越欠損金縮減など、中小企業にとって過大な負担となる項目が見受けられますので、引き続き注視してまいります。東日本大震災に関しましては、被災者の譲渡所得申告相談など、まだまだご支援すべき分野が残っておりますので、今後とも継続して対応していきます。

財政再建と経済の活性化という、難しい舵取りを要求される局面の中で、我々税理士の果たすべき役割を今一度考え、かつ実践する年としたと思います。



関東信越会会長  
増田 正廣

新年おめでとうございます。

昨年の日本経済は、4月の消費税増税後の反動減による住宅関連などの業種に対する影響の大きさ、秋には日銀から発表された金融緩和と政策の追加策、その反面急激な円安からの原材料等の高騰と、安倍内閣はデフレ脱却に苦しみました。他方、世界では米連邦準備理事会（FRB）の量的金融緩和と政策の終了による世界経済の減速が懸念され、テロ、感染症といった新たなリスクも浮上し、世界経済も揺り動かされた一年でした。このような環境下での賃金上昇の遅滞とデフレ脱却には苦慮していますが、今年の税制改正などに期待し、干支の羊のごとく飛び跳ねた一年にしたいものです。先生方におかれましては、MJSの経営システムやコンサルティングなどの経営情報サービスを活用し、会計事務所、顧問先企業の経営革新への一層のご支援、ご協力をお願い致します。関東信越会としては、引き続き一層の会員の増強を目指し、数県下統一のローカル色豊かな交流会、また時宜を得た地区会での研修会を開催し、相互の親睦および業界の活性化を図っていきたくと思っております。MJSおよびミロク会計人会会員各位の今年ますますのご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



東京会会長  
馬場 英晶

全国のミロク会計人会の諸先生方、新年おめでとうございます。会員の皆さま方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、消費税の増税、異常気象による災害、年末の衆議院の解散総選挙などで、経済も生活も目まぐるしく変化しました。私たちの顧客にも徐々に景気の変化が表れている先と変化がない先が出てきています。私たち税理士は、税務が専門でありませんが、顧客先は事業を営んでいます。その企業の内容については、よく熟知していることが必要であって、経営者はそれを期待してアドバイスを求めています。この傾向は、ますます強く表れてきていますので、これに応じる事務所組織をさらにガツクリと固めていかなければ顧客満足度は、高められないのです。顧客の会計数字は、MISのシステムを利用し、色々な角度から分析することにより、経営判断に有効なデータを得ることが出来ます。これを活用することによって、私たちは企業経営者に適切なアドバイスをを行うことができます。

最後に、ミロク会計人会組織をさらに強固にしていくためには、各地区会の活動に力を入れ、会員間の情報交換や研修などが行われるように努力をしていきます。今年も全国の先生方と助け合い、より強い会計人会にしていきます。



北陸会会長  
豆本 義弘

ミロク会計人会の会員の皆さまには、2015年の新春を寿ぎ、謹んでお喜びを申し上げます。  
天平勝宝2年(西暦750年)正月2日に越中国庁で、諸郡司たちをもてなす宴を開いた時に、越中国司大伴家持によって詠まれた歌  
『あしひきの 山の木末の 寄生取りて かざしつらくは 千年寿くとそ』  
万葉集 巻18——4136  
さて1990年代初頭、バブルが崩壊して以降、わが国の経済は低迷が続いています。そろそろ本格的に再生の道を見なければ世界の中で、特に中国にインドそしてブラジル、その他の新興国にも抜かれ弱小国となる懸念があります。従って本年は少しでも景気が好転し、世の中が安定してくればと願うばかりです。ところで本年春の開業(15年3月14日)に向けて、カウントダウンが始まった北陸新幹線。現在の長野新幹線を北陸金沢まで延伸させるものです。それと歩調を合わせることが、ミロク会計人会連合会主催の「第40回全国統研修会」が12年ぶり5回目「古き良き日本を感じ取る北陸の地」金沢において開催されることになりました。心を籠めて、お迎えさせていただきます。『北陸「コラレ」来まつし〜来ぬの〜 さあ〜待つとちゅ〜』本年が会員の皆さまにとり、良い年であることを祈念して新年のご挨拶といたします。



中部会会長  
石川 光男

2015年の年頭にあたり、会員の皆さまにはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて昨年11月6日、ミロク会計人会連合会主催による「第39回全国統研修会中部大会in名古屋」が開催され、無事終えることができました。1285名の方々が名古屋の地へ来訪いただき深く感謝申し上げます。本大会のテーマ「今を見つめ、未来をちかひ、日本創生!!」の理念の下、私も会計人の心意気をMIS社員と共に改めて得心できたならば、担当単位会として責任の一端が果たせたと思います。日本人の、企業再生、創業経営者の考え方、地元名古屋文化への再認識などの研修と会員同士の交流が深まり、実のある全国統研修会だったと思います。  
消費税増税後のGDPのマイナス、年数十万人の人口減、年10万社近い中小企業数の減少など、我々を取り巻く経営環境は年々厳しくなる中、昨年3月に改正税理士法が成立し、国民から期待される私共の使命はさらに強まっています。今こそ私共は体となり、「より良い会社づくり」のベストパートナーとしての負託に心えます。私共会計人こそが中小企業の「社外重役」であり、中小企業こそが「日本創生」の力であり、本年も皆さま方にとって良い年であり、本年も皆さま方にも積極的に活動を誓い、皆さま方とともに積極的な活動を誓い、新年のご挨拶と致します。



近畿会会長  
林 伸三郎

新年おめでとうございます。  
第2次安倍政権は昨秋の内閣改造後の政治とカネの問題が浮上、野党はここぞとばかりに反撃体制、そして、突然の衆議院解散、消費税の再増税は延期、急激な円安と物価高、株価は高値推移しているものの、経済成長はスローダウンしています。  
今年は、企業の活性化に向けた法人税減税と公的年金による株式運用拡大により、市場の拡大も期待されていますが、コーポレートガバナンスに対して一層の意識が求められるでしょう。全国の会員諸兄のご理解のもと、ミロク会計人会連合会総務委員会が進めている、アイエヌジー生命保険(本年4月1日よりエヌエヌ生命保険に商号を変更)との業務提携もお陰様で軌道に乗ってまいりました。会計人会のロゴマークも確定し、会員のための会計人会として、そして魅力ある会計人会を目指し、委員会一丸となって努力をしております。ようやく、昨秋から「総合企画プロジェクトチーム」も走り出しました。収益事業、委員会活動、連合会の組織、そしてMISとの連携等について、各単位会のご意見を尊重し、会員としてその顧問先企業からも頼られる会計人会を目指します。本年も会員諸兄のお知恵、ご指導をいただきますようお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。



中国会会長  
吉井 利幸

新年おめでとうございます。ミロク会計人会の会員の皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
2014年4月に消費税が5%から8%に増税されました。また、海外に進出している大手企業は、タイやベトナムなど東南アジアに業務をシフトさせながら業績を回復させており、東証株価も上昇しました。一方で、急激な円安が各業界に大きな影響を与えました。しかしながら、中小企業は、経営環境が目まぐるしく変化する現代において、なかなか思うように景気回復しておらず、先行きも見えていないのが現状ではないでしょうか。  
消費税のさらなる増税が控えており、我々税理士に対して税務・会計だけではなく、今まで以上に顧問先に役立てるような存在になることが強く望まれることは言うまでもありません。  
我が中国会におきましては、「オープン&ストレート」をスローガンに、同じMISシステムを利用する仲間とより深い結びつきを持って、情報交換を行い、より切磋琢磨していきたいと考えています。  
最後になりますが、今年も会員の皆さまにおかれましては、良い年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



四国会会長  
松内 邦雄

新年おめでとうございます。昨年は四国ミロク会計人会の会務の運営にご協力を賜りありがとうございました。

リーマンショック以来のデフレから脱却するため、安倍内閣は大きな自信をもって大胆な経済政策を掲げ、金融政策、機動的な財政政策、民間の投資を促す成長戦略を進めてきましたが、大きな成果はあがらない状態の中で2014年4月1日から消費税を5%から8%に引き上げました。

その結果、駆け込み需要がありましたが、景気回復には至りません。中小零細企業にとって材料費や燃料費の高騰、人手不足とまだまだ厳しい状況と言えます。

2015年度からは相続税法の改正があり、今後とも税理士・公認会計士の役割が重要になります。

景気に左右されない顧問先の企業体質、繁栄を目指し、M・J・Sとの連携を深め会務の活動をしていきたいと思えます。

また、四国会では会員からの要望もあり、広報誌を発行することが理事会で決定しました。

今後は事業活動(総務・システム開発・情報ネットワーク・研修内容の報告など)を、広報誌を通して会員の皆さんへ報告していきたいと思えます。



九州会会長  
大久保 昌逸

新年おめでとうございます。ミロク会計人会の皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、本年は未年であります。干支としての羊とは、「群れをなす羊は、家族が安泰にいつまでも平和に暮らすことを意味する」ということですから、昨今の景気低迷、政局の不安定さ、そして自然の猛威という状況の中にあつて、今年はホッと一息をつく年になるのでありましょうか。とはいえ現状では、消費税の増税以降の消費回復にはまだまだ時間がかかるようですし、今年の後半からは相続税の申告件数が従来の五割増し、あるいはそれ以上になりそうです。

このような困難な時期であればこそ私たちミロク会計人は、事務所経営を固めつつ関与先企業との絆をより強固にし、経営計画や資金繰りの支援などのサービスを迅速に提供してゆく必要があるでしょう。また、そのような地道な努力を継続することが、ひいては健全な経済発展に寄与するという我々の社会的な使命を果たすことになるでしょう。最後になりましたが、この新しい年が全国各地の会員の皆さまにとりまして、素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



沖縄会会長  
知花 直治

明けましておめでとうございます。会員の皆さま、お健やかに未の年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、ウクライナ危機、ガザ紛争、イスラム国問題、エボラ出血熱拡大など、世界各地で課題山積の一年でした。国内でも自然災害による悲しい出来事が多発し、心を痛めました。一方、日本人3名のノーベル物理学賞受賞の快挙は日本中を明るくしました。国内経済は消費税増税の影響を受けたものの、リーマンショック以来の円安水準・株価高騰などアベノミクス効果で、都市部や一部業界では回復基調を維持しております。しかし地方や中小零細企業まで浸透するにはまだ時間がかかりそうです。沖縄県は観光産業、建設関連を中心に全体として順調に推移しております。さらに、那覇空港第2滑走路の建設が始まり、国際ハブ空港化にむけて準備が進み期待されております。

今年から相続税法が改正され、大幅な負担増になります。M・J・Sのシステムを活用し、事前対策を含め納税者のニーズにしっかり応えていかなければなりません。研修会も積極的に取り組んでまいります。会員の皆さまにとりまして本年も良い一年でありますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

新年おめでとうございます。全国のミロク会計人会会員の皆さまにおかれましては、お健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、世界的発展に寄与したとして、ノーベル物理学賞受賞者3人が決定され、暮れにはユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の無形文化遺産に「和紙 日本の手漉和紙技術」が推薦され、日本の無形文化遺産登録は一昨年の「和食」も含め合計22件となりました。一方国内では安倍政権が誕生して2年が経過しました。デフレ脱却のために打ち出したアベノミクスが、軌道に乗り始めたかと思うと、逆に円安・株高・金利安で輸入品が値上がりして、中小企業者にとっては材料費などの高騰で経営が悪化し、そのうえ4月から消費税が8%に上がり、一時は駆け込み需要で消費は上昇したものの、後半に入って消費が先細りになってしまった年でした。



連合会監事  
鈴木 孝

新年おめでとうございます。先生の先生方にはお健やかに新年をお迎えになられたと心からお慶び申し上げます。昨年の7月に13年間努めていただきました中国会の会長を退任させていただきました。少々遅きに失しましたが、次の世代を担う先生方にバトンタッチをいたしました。長きにわたって中国会の先生方、また連合会の諸先生方に支えられ無事卒業させていただきました。少しゆつくりと思っていた矢先、会長・監事推薦委員会より連合会監事の就任依頼がありました。お断りする喫緊の理由もなく、「私で良ければ喜んでお引き受けいたします」と周りの状況も顧みず、また続けて連合会の全国の先生方とお会いできる喜びを優先させていただきました。

さて、連合会の監事職ですが、連合会会計も収益事業を包含する法人的会計を採用するに至っている現在、その職務は重要であり責任を伴うものであると考えます。北村具頼前監事、鈴木孝現監事両先生に教えをいただき職責を全うしたいと覚悟しています。最後になりましたが、昨年8月に広島市で発生した大規模土砂災害に際し、全国各地から物心両面にわたる大きなご支援をいただきました。誌面をお借りして心より御礼申し上げます。新米監事で、ご挨拶申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新年おめでとうございます。会員の先生方にはお健やかに新年をお迎えになられたと心からお慶び申し上げます。昨年の7月に13年間努めていただきました中国会の会長を退任させていただきました。少々遅きに失しましたが、次の世代を担う先生方にバトンタッチをいたしました。長きにわたって中国会の先生方、また連合会の諸先生方に支えられ無事卒業させていただきました。少しゆつくりと思っていた矢先、会長・監事推薦委員会より連合会監事の就任依頼がありました。お断りする喫緊の理由もなく、「私で良ければ喜んでお引き受けいたします」と周りの状況も顧みず、また続けて連合会の全国の先生方とお会いできる喜びを優先させていただきました。



連合会監事  
武安 紘二

新年おめでとうございます。先生の先生方にはお健やかに新年をお迎えになられたと心からお慶び申し上げます。昨年の7月に13年間努めていただきました中国会の会長を退任させていただきました。少々遅きに失しましたが、次の世代を担う先生方にバトンタッチをいたしました。長きにわたって中国会の先生方、また連合会の諸先生方に支えられ無事卒業させていただきました。少しゆつくりと思っていた矢先、会長・監事推薦委員会より連合会監事の就任依頼がありました。お断りする喫緊の理由もなく、「私で良ければ喜んでお引き受けいたします」と周りの状況も顧みず、また続けて連合会の全国の先生方とお会いできる喜びを優先させていただきました。

さて、連合会の監事職ですが、連合会会計も収益事業を包含する法人的会計を採用するに至っている現在、その職務は重要であり責任を伴うものであると考えます。北村具頼前監事、鈴木孝現監事両先生に教えをいただき職責を全うしたいと覚悟しています。最後になりましたが、昨年8月に広島市で発生した大規模土砂災害に際し、全国各地から物心両面にわたる大きなご支援をいただきました。誌面をお借りして心より御礼申し上げます。新米監事で、ご挨拶申し上げます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新年おめでとうございます。会員の先生方にはお健やかに新年をお迎えになられたと心からお慶び申し上げます。昨年の7月に13年間努めていただきました中国会の会長を退任させていただきました。少々遅きに失しましたが、次の世代を担う先生方にバトンタッチをいたしました。長きにわたって中国会の先生方、また連合会の諸先生方に支えられ無事卒業させていただきました。少しゆつくりと思っていた矢先、会長・監事推薦委員会より連合会監事の就任依頼がありました。お断りする喫緊の理由もなく、「私で良ければ喜んでお引き受けいたします」と周りの状況も顧みず、また続けて連合会の全国の先生方とお会いできる喜びを優先させていただきました。

# 謹んで新年のご挨拶を申しあげます。



株式会社ミロク情報サービス

代表取締役社長  
最高執行責任者

是枝 周樹

## 地域経済を支える 中小企業に活力を

アベノミクスが始動して2年、本格的なデフレ脱却と景気回復への期待感が高まりましたが、昨年の日本経済は、消費税率の引き上げにより景気低迷が顕在化し、今もなお回復の兆しが見られません。また、都市部と地方、あるいは大企業と中小企業における景況感の格差が広がりつつあることは、税理士の先生方も肌身にかけておられることと思います。日本の中小企業が元気になるければ、決して景気を回復軌道へ復帰させることはできません。昨年末の衆議院議員総選挙により、多くの国民の支持を得た安倍政権においては、景気回復を最優先し、地方

創生と中小企業支援の力強い推進に期待したいと思えます。

## 人口減少と 少子高齢化による問題

一方、日本国内における経済・社会構造の大きな変化の一つとして「人口減少と少子高齢化」があります。社会全体が高齢化していますので、税理士先生の顧問先経営者においても高齢化が進展し、今後、引退を決定される方々も増えると思われる。その際に問題となるのが、少子化や職業の多様化などによる後継者の不在です。そして、地域の経済や雇用を支えている中小企業の数も、今もなお減少傾向にある要因の一つになっています。

このような状況において、昨

今、事業承継に対する有効な方策として注目されているのが、M&A（合併&買収）です。後継者不在により、将来に不安を感じている経営者が増える一方で、企業買収により積極的に事業拡大を考える経営者も増えています。また、平成25年度の税制改正において、事業承継税制の適用要件などが見直され、さらに、中小企業経営者に対する個人保証問題の改善に向けた取り組みが始まるなど、円滑な事業承継に向けた環境整備も進められています。

## 中小企業の事業継続を支援する

当社は、1977年の設立以来、会計事務所の先生方と共に、中小企業の経営改善を支援

すべく経営システムや経営情報サービスの提供を行ってまいりました。そして本年から、新たに中小企業の事業承継、事業再生に資するサービスを開始します。当社は昨年9月に、100%子会社である「MJS M&A パートナース」を設立し、現在、事業体制の構築を進めています。

私が経営者にとって最も大切なことは、事業を維持・継続させることだと思っています。厳しい経営環境にあっても、長年、不断の努力を重ねてこられた経営者が「廃業」を選択することなく、一社でも多く会社を存続させてほしいと心から願っています。今後、税理士先生におかれましても、顧問先企業から事業承継に関する相談が一層増えることが予想されます。私たちは先生方と共に、顧問先企業の立場に立った事業承継を万全な体制でご支援できるよう努めてまいります。

当社は、会計事務所の先生・職員の皆さまへのご支援を通じて、顧問先企業の発展に貢献することを使命としています。今後も先生方が専門性を遺憾なく発揮され、顧問先企業の課題を解決できるよう、全社一丸となつて、より付加価値の高いサービスの提供に邁進してまいります。

最後に、諸先生、職員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

最後に、諸先生、職員の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

# 「第39回 全国統一研修会・中部大会 in 名古屋」開催報告

## 「今を見つめ、未来をちかい、日本創生!!」を

## テーマに開催され、1285名が名古屋に集結!!

11月6日(木)、名古屋市中区の「名古屋東急ホテル」にて、ミロク会計人会連合会主催の一大イベントである「全国統一研修会・中部大会 in 名古屋」(開催担当会:中部ミロク会計人会)が、1285名の参加を得て盛大に開催されました。



式典風景

式典は、午後1時45分から清

水英文大会実行委員とアシスタントの稲葉寿美アナウンサーの司会の下、石川 光男大会実行委員長の挨拶により開会。

平川 忠雄ミロク会計人会連合会会長による大会開催のご挨拶の後、麻生 太郎財務大臣からの祝辞を知花 直治副会長が代読披露。その後、来賓の佐藤 悦緒中小企業庁事業環境部長および太田 直樹東海税理士会会長からご祝辞をいただきました。

単体会表彰では、昨年の「第38回全国統一研修会・広島大会」を担当された中国ミロク会計人会を代表し、吉井 利幸中国会会長が表彰を受けられました。功労者表彰では、このたび任期を終えられた関東信越会の井上 泰

一前会長、中国会の武安 紘二前会長、九州会の船越 久人前会長が表彰されました。

そして、協賛会社であるミロク情報サービスの是枝 周樹代表取締役社長の挨拶の後、祝電披露が行われ、川松 保夫大会実行副委員長の閉会の言葉で式典は終了となりました。

引き続き午後2時30分からは引続き基調講演は、山内 今朝男大会実行副委員長の閉会の言葉でスタート。放送作家・小説家の百田 尚樹氏より、「日本人の誇り」をテーマにご講演いただきました。鈴木 英輝大会実行副委員長の謝辞と閉会の言葉で幕を閉じました。その後、午後4時30分からは3つの分科会を同時に開催。

第1分科会は、株式会社千代田キャピタルマネージメント代表取締役の高橋 隆明氏に「顧問先の事業再生について、会計事務所がどう取り組むか」をテーマにご講演いただきました。松本 主市大会実行委員が司会を務め、長尾 仁大会実行委員の閉会の言葉で始まり、最後は寺澤 克佳大会実行委員の謝辞と閉会の言葉で終了しました。

第2分科会は、カレーハウスCOCO 壱番屋 創業者の宗次 徳二氏に「宗次流 独断と偏見の経営哲学」テーマにご講演いただきました。宮川 孝広大会実行委員が司会を務め、前田 茂也大会実行委員が閉会の言葉を述べ、加藤 芳和大会実行委員の謝辞と閉会の言葉で終了しました。

第3分科会は、東海学園大学 人文学部教授・南山大学名誉教授の安田 文吉氏に「徳川家康・宗春と名古屋の底力」をテーマにご講演いただきました。土屋 広高大会実行委員が司会を務め、永谷 文人大会実行委員の閉会の言葉で始まり、岩上 春満大会実行委員の謝辞と閉会の言葉で終了しました。



功労者表彰を受ける  
井上 泰一関東信越会前会長



単位会の表彰を受ける  
吉井 利幸中国会会長



(右から)司会の清水 英文大会実行委員と  
アシスタントの稲葉 寿美アナウンサー



開会の挨拶をされる  
石川 光男大会実行委員長



功労者表彰を受ける  
船越 久九州会前会長



功労者表彰を受ける  
武安 紘二中国会前会長



ご来賓席と協賛会社席



壇上の連合会役員

## ご祝辞

財務大臣 麻生 太郎 様  
代読 知花 直治 連合会副会長



本日、ミロク会計人会連合会主催による第三十九回全国統一研修会が、愛知県名古屋市の市において盛大に開催されるにあたり、心からお祝いを申し上げます。皆様方におかれましては、日頃より、独立した公正な立場から、納税者を支援して国民の納税義務の適正な実現を図るという公共的使命を果たされる一方、納税の基礎となる記帳や会計処理をはじめ、商取引の面においても指導的な役割を果たすことで、国民経済の健全な発展と健全な国家財政の実現に寄与しておられることに対し、敬意と感謝の意を表するものであります。政府は、長引くデフレからの脱却と経済再生の実現に向け、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」からなる「三本の矢」を一体的かつ強力に実行しており、その効果は確実に現れてきております。成長戦略を確実に実行し、経済再生と財政再建の両立を図りながら、景気回復の実感を全国に届けていくことが重要です。ミロク会計人協会には、全国八千四百事務所もの税理士・公認会計士の先生方が加入されていると聞き及んでおります。先生方には、全国の中小企業の皆様を元気にさせていただくための取組を行っていただき、日本経済の発展のために引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

本年の全国統一研修会が実り多いものであることを期待しますとともに、貴連合会の益々の御発展と、御参会の皆様方の御健勝をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

## ご祝辞

中小企業庁事業環境部長  
佐藤 悦緒 様



本日は、誠に盛大な会の開催となりましたこと、心よりお祝い申し上げます。

私のご挨拶では、中小企業庁を代表して、平素より税理士の先生方に感謝していること、そしてお願いしたいことを述べさせていただきます。

中小企業庁も策定に携わった「中小企業会計に関する基本要領」ですが、先生方におかれましては、顧問先企業への指導を通じて、その普及にご尽力いただき誠にありがとうございます。今後ますます普及していただきますようお願い申し上げます。また、中小企業をさまざまな面からご支援いただきたく、中小企業庁が創設した経営革新等支援機関制度につきましても、多くの税理士の先生方にご登録いただきありがとうございます。今後、さらに多くの先生方にご登録いただくとともに、認定機関となった先生方にはより幅広く中小企業をご支援いただきたく思います。さらに、中小企業庁では「ミラサポ」という中小企業・小規模事業者を情報面から支援するポータルサイトを運営しております。有益な情報を数多く盛り込んでおりますので、先生方のような専門家にもぜひご覧いただき、顧問先企業への指導にお役立ていただくとともに、その認知度向上にお力添えいただけますと幸いです。

最後に、2015年1月から相続税法の事業承継税制が変わります。ますます使いやすくなる内容になりますので、ぜひ積極的に活用いただければと思います。それでは先生方のますますのご活躍を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

## ご祝辞

東海税理士会会長  
太田 直樹様



本日、第39回の全国統一研修会がかくも盛大に開催されるにあたり、心からお喜び申し上げます。皆さま方には日頃から東海税理士会の会務運営について、深いご理解とご協力を賜っており、この席をお借りして厚く御礼を申し上げます。

ミロク会計人会は、社会経済の情勢を踏まえ、顧問先企業を支援するさまざまな活動を展開されています。会計事務所とその顧問先との相互発展のために長年ご尽力されていることに深く敬意を表します。

我が国は政府の金融財政施策により、大企業を中心に景気回復の兆しが見受けられますが、地域経済は依然として厳しい状況にあると思います。一方、税理士業界が一丸となって取り組んできた税理士法改正は、平成26年3月20日の参議院本会議において可決・成立し、3月31日に公布されました。

税理士を取り巻く環境が変化する中、中小企業の経営力向上に向けた各種施策による支援、租税教育の普及・推進、税制改正および番号制度の周知などに、積極的かつ柔軟に対応し、税理士一人ひとりが納税者から厚い信頼を受ける努力を一層しなければいけないと考えております。

結びにあたり、ミロク会計人会のみならずのご発展と会員の皆さま方のご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## ご挨拶

ミロク会計人会連合会会長  
平川 忠雄



皆さま、本日はご参集いただきありがとうございます。第39回の全国統一研修会がここ名古屋にて開催されますことに、心から御礼を申し上げます。

我が国は、アベノミクスという経済政策を進めています。20世紀の古い税法のままでは真の経済再生は成り立ちません。その考えのもと、大きな税制の変革を求めて現在、政府税制調査会をはじめとし、さまざまな議論が行われています。まさしく21世紀型の税制が生まれてくる時期であり、我々が果たすべき使命も非常に大きくなります。今日は、多様な方面の専門家の方々からさまざまなお話を伺うことができ、日頃取り組んでいる税務会計のみならず広い分野に目を向けて、我々が新しい時代に対応していく糧になるのではないかと考えます。

アベノミクスが始まった後の税制の多くは2015年1月1日以降に適用となりますが、その最たるものは、中小企業庁の肝いりで変革を遂げた、事業承継税制であると思います。また、その他の税制も大きく変わってきます。本日も参集の税理士の先生方がこの激動を乗り越えてこそ、今回のテーマ「今を見つめ、未来をちかひ、日本創生!!」を実現できましよう。それに資する大会になることをお誓い申し上げて、私のご挨拶に代えさせていただきます。

## 協賛会社挨拶

株式会社ミロク情報サービス  
代表取締役社長  
是枝周樹



本日は、ミロク会計人会連合会主催の、第39回全国統一研修会、中部大会において、多くの皆さまにお集まりいただきましたことに、心より深く御礼申し上げます。大会準備にあたられた中部会の諸先生方、ならびに、ご来賓の方々にも厚く御礼申し上げます。

昨今、会計事務所業界におきましては、顧問先企業における先生方への相談内容が、一層、高度化、多様化しております。とりわけ中小企業においては、事業継続問題が深刻化しつつあり、現在多くの中小企業が倒産・廃業に追い込まれています。さらに経営者の高齢化が進行する一方で、後継者の確保が難しくなっているのが現状でございます。

当社におきましても、この9月に、中小企業における円滑な事業承継や事業再生を実現するために「M J S M & A パートナーズ」という子会社を設立しました。多くの会計事務所の先生方との信頼関係を生かして、1件でも多くの中小企業の事業継続に貢献できるよう、まい進してまいります。当社はこれからもミロク会計人会と車の両輪のごとく協力し合い、会計事務所業界の発展、そして顧問先の中小企業を元気にできるような、最大限のご支援をさせていただきます。今後とも、ご指導・ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



懇親パーティーの風景



津 高虎太鼓の迫力満点の演奏



華麗な道具さばきを見せた棒の手パフォーマンス



閉会の挨拶をされる  
浅野 隆士大会実行委員



協賛会社挨拶をされた  
MJSの是枝 伸彦会長



北陸会の皆さんが熱烈に次期大会への参加を呼びかけ!



次期大会へのお誘いをされる  
豆本 義弘北陸会会長

懇親パーティーは午後6時30分、「津 高虎太鼓」のアトラクションで幕を開けました。1973年に津青年会議所創立20周年記念事業として創設され、和太鼓による伝統的な演奏が注目を集めている団体で、日本各地はもとより、海外でも演奏活動を行っています。迫力満点の演奏に、会場の雰囲気は一気に盛り上がりました。

アトラクションが終わると、改めて早川 昭雄大会実行副委員長が開会の挨拶を行い、続いて来賓紹介があり、大村 秀章愛知県知事、河村 たかし名古屋市長、大橋 裕志名古屋税理士会副会長、太田東海税理士会会長、堀江 正樹日本公認会計士協会東海会会長、各分科会の講師を務められた高橋氏、宗次氏、安田氏など、そうそうたる方々がご参加くださったことがご紹介されました。その来賓を代表して大村知事にご挨拶いただき、大橋名古屋税理士会副会長のご発声で乾杯となりました。

歓談の時間では、同じ単位会で親睦を深める人、他のテーブルに赴き他の単位会の方と旧交を温める人など、皆さん思い思いに楽しまれた様子です。また、来賓席は、名刺交換や記念撮影をしたい方々で大変賑わっていました。

しばしの歓談の後、次のアトラクションは高針 棒の手保存会連合会 東古谷 棒の手保存会による「棒の手パフォーマンス」です。棒の手とは、名古屋市の無形民俗文化財に指定されている伝統芸能で、棒や太刀などを用いて演技を行います。その華麗な道具さばきを見る者を魅了しました。

全てのアトラクションを終えた後、ミロク情報サービスの是枝 伸彦代表取締役会長より挨拶がありました。続く次期大会へのお誘いでは、豆本 義弘北陸会会長をはじめとする北陸会の皆さんが地元・北陸の名産名所が載ったポスターやパネルを手に舞台上上がり、来春の北陸新幹線開通に向けて注目が高まっている金沢の魅力アピールし、第40回となる次期大会への参加を呼びかけました。そして、最後に浅野 隆士大会実行委員の閉会の挨拶があり、懇親パーティーは終了となりました。



講演者

百田 尚樹 氏

ひやくた・なおき

放送作家・小説家

1956年2月23日大阪生まれ。同志社大学法学部を中退後、放送作家となり『探偵1ナイトスクープ』、『大発見!恐怖の法則』などの番組の構成を手掛けた。2006年『永遠の0』(太田出版)を発表し、小説家としてデビューした。09年『BOX』が第30回吉川英治文学新人賞候補、第6回本屋大賞の5位に選出され、映画化された。12年10月15日付けオリコンランキング文庫部門で『永遠の0』が100万部を突破。文庫部門では13作目のミリオンヒットとなり、東宝による映画化が決定した。13年『海賊と呼ばれた男』で本屋大賞を受賞。『たかじんのそこまで言って委員会』では「怒れるオッサン大賞」を受賞。著書に『永遠の0』(太田出版/講談社文庫)、『BOX』(2008年7月太田出版)、『モンスター』(2010年3月幻冬舎/2012年4月幻冬舎)、『海賊と呼ばれた男』(2012年7月講談社【上・下】)、『夢を売る男』(2013年2月太田出版)など多数。



「日本人の誇り」

「平成」に入ってから最大のベストセラーとなった小説『永遠の0』、本屋大賞に輝いた『海賊と呼ばれた男』など次々と話題作を発表する小説家の百田尚樹氏。放送作家から小説という新たなジャンルに挑戦した経緯、そして小説の題材と向き合う中で感じ、伝えたいと思われた「日本人の誇り」についてご講演いただきました。

50歳を目前にして一念発起 小説という新たな分野に挑む

私は20代の頃から放送作家として『探偵1ナイトスクープ』をはじめとする数多くの番組を手掛けてきました。しかし49歳の時、一年の終わりが早いことに驚き、感慨深い気持ちになりました。そして、自分のこれまでの人生について振り返ってみたところ、本当に命がけでベストを尽くしてきたかという、自信が持てなくなっていたのです。そこで、50歳を機に新しいことに挑戦したいと思うようになりました。ただ、年齢的にもう遅いかな、という気持ちも正

直ありました。そんな背中を後押ししたのは、『探偵1ナイトスクープ』の総編集の編集集時に見た、一般人の方の姿でした。

その方は世界最高齢であろう94歳の、自称「マジシャン」で、自宅に作ったステージに燕尾服にシルクハットの装いで登場し、次々とマジックをしていくのですが、それがことごとく失敗するのです。それでも彼は決して表情一つ変えず、淡々とマジックを続けていく。その姿に、知らず知らずのうちに笑いながら感動している自分がいました。しかも、彼の本当の職業は整体師で、その資格は88歳の時に取得したものだ。そんな映像を見ているうちに、たかだか50歳くらいで新しいことに挑戦しない自分が恥ずかしくなってきたのです。こうして小説を書くことを決意しました。次は肝心の小説のテーマを決めなければならぬ。当時、大正13年生まれの私の父が末期がんで余命半年を宣告されていました。父は高等小学校を卒業してからすぐに働

き、20歳で戦争に赴き、戦後は大阪市水道局の職員として働いていました。また、その1年前に亡くなった母方の叔父も太平洋戦争を経験したことを思い出し、彼らがいなくなってしまうことに危機感を感じたのです。私たちの世代は戦争のことを聞き、戦後の雰囲気を感じることができましたが、今の子どもたちは戦争のことをほとんど知りません。現に私の父も孫には戦争の話を含くしませんでした。そのことに気付き、今こそ、戦争を体験した人たちの話を子どもたちの世代に伝えていくべきではないかと考えたのです。

そんな思いを胸に著したのが『永遠の0』です。そのストーリーは二人の姉弟が祖母の死を契機に、今まで自分たちが祖父だと思っていた人物が実の祖父ではないことを知り、実の祖父の人物像を探るために、彼の戦友たちのもとを訪ねていくというものです。姉弟たちは実の祖父やその戦友たちの生き様を知り、最後に封印された事実が明らかになります。2006年の発行当初、売れ

行きはそれほど芳しくありませんでした。しかし、不思議と売れ行きが落ちることはなく、09年に講談社で文庫化されてからも地道に売れ続けました。そして、次第に話題を集めるようになり、12年にはミリオンヒットとなり、今では400万部を突破するまでになりました。特に最近、若い読者が増えていることをとても嬉しく思っています。彼らがこの本を読み、自分たちの祖父母に戦争の話聞き、戦争のことも知ってもらえれば本望です。

### いま改めて実感する 大正生まれの人々の偉大さ

このように、作家として知られるようになりましたが、東日本大震災後はしばらくの間、筆が進まない時期が続きました。テレビで東北地方の甚大な被害の様子を目の当たりにするにつけ、今自分が書いた小説を本当に必要とする人はいるのだろうか、と迷いを断ち切ってくれたのは、ある一つのエピソードとの出会いでした。それが『海賊とよばれた男』の主人



基調講演の風景

公となる出光興産の創業者、出光佐三による日章丸事件だったのです。日章丸事件が起こったのは1953年のこと。当時、イランの石油資源はイギリスによって国有化され、完全に独占されていました。同時期の日本は依然としてアメリカの影響力が強く、石油を自由に輸入することができず、経済成長がままならない状態でした。「こ

の状況を打開するには産油国の自由取引が必要だ」と考えた出光佐三は、世界中が手出しできずにいたイランに交渉を持ち掛け、自社の唯一のタンカー「日章丸」を繰り出したのです。もちろん、イギリス海軍が黙っているわけがありません。イランの海域には厳重な警戒網が敷かれました。しかし、日章丸のクルーたちはそれを見事に掻い潜り、イランから石油を持ち帰ることに成功したのです。そして、このニュースは世界中の新聞の一面を飾るほどの衝撃をもたらしました。

私はこの日章丸事件のストーリーだけでなく、出光佐三の人物像、そして彼を支えた出光興産の従業員たちにも感動を覚えました。出光佐三は消費者と従業員を何よりも大切しながら、行動していました。終戦の2日後には『愚痴を言うな。誇りを失うな。日本は必ず復興する』と従業員に檄を飛ばし、会社そのものが絶望的な状況にあったにもかかわらず、従業員全員に手紙を書き、自らの財産を切り崩しながら当面の生活費を渡し

ていたそうです。そして、従業員たちもそんな出光佐三の思いに打たれ、その大半が出光興産に残りました。日章丸事件が起きたのはそれから8年後のことです。こうした出光興産の人々の前向きでひたむきな思いと団結力が世界を驚かす日章丸事件を成功に導いたのだと思います。そして、そんな姿勢と思いこそが震災後の日本には必要なのではないかと感じ、『海賊とよばれた男』を書き上げました。

『永遠の0』と『海賊とよばれた男』、この2作品を発行した後、私はあることに気付きました。二つの作品の中心にいる男たちはいずれも大正生まれだということ。大正時代はわずかな期間しかなかったにもかかわらず、その間に生まれた男性約1340万人のうち200万人近くが戦場で亡くなってしまったという壮絶な世代でもあります。中国との間で起こった日中戦争に10年間、アメリカとの間で起こった太平洋戦争に4年間、合計14年という青春時代を戦争に投じなければならなかった世代なのです。しかも、地獄

の戦場から帰ってきた祖国は焼け野原。どれだけ愕然としたことでしょうか。それでも心折れることなく、粉々になった日本をイチから立て直したのは、まさにこの戦争を戦い抜いた男たちなのです。「男」と表現していますが女性も含まれます。そして、彼らは戦後50年経っても復興できないのではないかと悩んでいたにもかかわらず、終戦から19年後の1964年には東京オリンピックを開催し、新幹線まで走らせ、アツという間に日本経済をアメリカに次ぐ規模にまで押し上げていったのです。なんと偉大な世代か。これこそ日本人としての誇りではないでしょうか。

私は大正生まれの人たちを一言で表すと、「人のために生きた世代」だと思います。今の日本人たちに感謝し、次の世代にこの素晴らしい国をつないでいかなければなりません。私も小説などを通じて、大正生まれの人たちに気付かせてもらった「日本人の誇り」を伝え続けていきたいと思えます。



## 第1分科会レポート

# 顧問先の事業再生について、 会計事務所がどう取り組むか

第1分科会では、株式会社千代田キャピタルマネージメント代表取締役の高橋 隆明氏に、顧問先の事業再生にどのように取り組むべきか、その手順とポイントをお話いただきました。

### 講演者



### 高橋 隆明 氏

たかはし たかあき  
株式会社千代田キャピタルマネージメント代表取締役、  
不動産鑑定士・税理士・博士(経済学)・博士(経営学)

日産火災海上保険株式会社の国際業務部門で活躍した後、融資部に転じ審査課長、業務課長として融資実行審査、不良債権回収の責任者の職を歴任。2000年に同社を退職、株式会社千代田キャピタルマネージメントを設立し、代表取締役に就任。事業再生コンサルタントとして活躍。全国で中小企業の再生を成功させている。敬愛大学の客員教授として実務経験を生かした指導をし、不動産鑑定士・税理士として税務・不動産鑑定業務も行っている。著書に『銀行の合意が得にくい場合の事業再生の進め方』『リスケ(返済猶予)に頼らない事業再生のすすめ』『どしたら銀行に債権放棄をしてもらえるか』(ファーストプレス) など多数。

### 顧問先の経営状況を分類する

現在、経営革新等支援機関(認定支援機関)の数は2万を超えており、その大半が税理士です。認定支援機関が果たす役割として挙げられるのは中小企業の事業再生ですが、実際に事業再生に携わられた先生方はそう多くはないかもしれません。事業再生に向けて知っておきたいことを挙げますと、①金融

機関の自己査定②返済猶予の実態③第二会社方式④経営者保証の扱いの4つとなります。

金融機関の自己査定においてはA債務者区分、B債権区分、C貸倒引当金の計上、D金融機関の実情といった要素があるのですが、中でもAは、下の表のように分類されます。先生方におかれましては、まずは顧問先がどの区分の経営状態にあるのかを正確に把握しておく必要がある

### 事業再生は大きな好機

と思います。

いざ事業再生を進めるとなると、今度は再生計画を立てなければなりません。再生計画においては、常に実現可能性が高い計画であることが求められます。また、再生計画には事業計画と返済計画を盛り込む必要がありますが、その際に前提となるのは顧問先のキャッシュフローの状態です。マイナスの場合は市場からの撤退も検討するべきでしょう。

また、再生計画を立てる際には複数の債権者との関係性に注意した上で対策を講じていかなければなりません。例えば、返済額の分配にあたって、有担保シェアと無担保シェアのどちらを優先するべきかという点、担保物が事業再生に不可欠なのか否かによっても異なることになります。ほかにも、金融機関は計画の実効性はもちろん、経営者がきちんと責任を取っているかどうか、自行だけが不利益をこうむっていないか、債務者区分にプラスの影響を与えるかと

いったことも重視するので注意が必要です。債権者との調整を軽視して第二会社の設立などを一方的に進めていくと、後々になって債権者との間でトラブルが生じる可能性があるので注意が必要です。

ところで、昨今の事業再生においては第二会社方式が主流になっていきますが、このスキームを進める際には倒産隔離に細心の注意を払わなければなりません。例えば元の会社に多額の税金の未払いがある場合、これを放置しておく、せっかく設立した新会社が第二次納税義務を負うことになりかねません。旧会社の整理にあたっては新会社への影響をしっかりと把握することが大切なのです。

事業再生にあたっては過去、現在をもとに計画を練り、将来を切り開いていかなければなりません。その点、会計事務所は顧問先の過去、現在の財務について把握できており、誰よりも事業再生を支援できる立場にあります。金融機関もそのあたりを理解しており、会計事務所の方々が債権者に同行し、適切

な財務情報や再生計画を提供してくれることを心から望んでいます。事業再生は会計事務所にとって新たなビジネスチャンスであるとともに、社会と顧問先へ貢献できるチャンスでもあるのです。先生方の努力で一つでも多くの事業再生が成し遂げられることを願っています。

### 金融機関の債務者区分

正常先	業績良好かつ財務内容にも問題なし
要注意先	金利減免など貸出条件に問題、元本返済・利払いの延滞、業績が低調など財務内容に問題がある
要管理先	要注意先の中でも3カ月以上の延滞または貸出条件緩和をした
破綻懸念先	経営難の状態にあり、経営改善計画などの進捗状況が芳しくなく、今後破綻に陥る可能性が大きい
実質破綻先	法形式的に破綻ではないが、深刻な経営難にあり再建の見通しが無い
破綻先	法的・形式的に経営破綻



## 第2分科会レポート

# 宗次流、独断と偏見の経営哲学

いまや日本最大のカレーチェーンとなった「カレーハウスCoCo壱番屋」(以降、ココイチ)。第2分科会では、同社の創業者である宗次 徳二氏に、ココイチを成功に導いた経営の秘訣についてお話しいただきました。

### 講演者



### 宗次 徳二氏

むねつぐ・とくじ  
カレーハウスCoCo壱番屋創業者

20代で不動産業に携わった後、1974年に喫茶パックスを開業、78年にカレーハウスCoCo壱番屋を創業。82年に株式会社壱番屋を設立し代表取締役社長に就任、98年に同社代表取締役会長、2002年に創業者特別顧問に就任(現職)。「ニコニコ・キビキビ・ハキハキ」を社是に居心地のよいサービスを提供し消費者に支持される店舗づくりに尽力。国内外に店舗網を拡大している。主な著書に「CoCo壱番屋 答えはすべてお客様の声にあり」(日本経済新聞出版社)、『日本一の変人経営者』(ダイヤモンド社)、『夢を持つな! 目標を持って!』(商業界)など。

工夫を重ねてきました。その取り組みをご支持くださった人たちに支えられて、売り上げが伸びていったのです。ちなみに、私は今日に至るまでコンサルタントの先生にお世話になったことがありません。つまり、すべてが完全なる自己流です。しかも、いい失敗も、あえてすればいいじゃないかという気持ちでやってきました。これから述べることがそこで得た教訓です。

### 繁盛のため、お客様の声を聞け

飲食業は現場がすべてです。

経営方針も迷った時の打開策も現場にあります。例えば、お客様が食べ終わられた食器の中にはたくさん情報詰まっています。店を出る時の背中からは、お店や食事に対して不満を抱いていらつしゃったか、幸せを感じていただけたのかを読みとることができません。時に自ら現場に入らず、楽をして儲けようという方がいますが、それではいけません。仕事で判断に迷った時はお客様のことを第一に考えなければなりません。その根拠を得るためにも経営者は現場に

入るべきなのです。

### 安売りだけがサービスではない

ココイチでは早くから全店でお客様の声を聞くため、アンケートはがきを導入しています。そして創業以来、学生など一部対象者を除き、一度も値下げをしたことがありません。トップピングのらっきょう(1セット30円)も誇りを持って出しています。ですが、アンケートはがきには、「らっきょうにカネを取るな」というものが500通ほどありました。

また、「他社は企業努力で値下げしているのにココイチはなぜ値下げしないのか」という意見も多くありましたが、ココイチの平均客単価は約810円と決して高くありません。重要なのはお客様に価格以上の価値を与える努力をしているかどうかです。ココイチが100%パーフェクトと言うつもりはありませんが、少なくとも全店においてその努力がなされていると自負しているから値下げはしませんでした。その根拠となる評価にあたっては、私自身が各店舗を

回るほか、社内のスーパーバイザー、外部の覆面モニターなども入れて徹底的に行いました。

### 後継者は社長の背中を見て育つ

店舗数が増えるにつれて何事も一人でやるには限界が出てきます。そこで大切になるのはいかに後任を育てるかということだと言われますが、実は私には人を育てた記憶がありません。ただ、私自信が誰よりも頑張り続けるしかなかった。その中で気付いたのは、私の背中を見て育つてくれる、真の「人財」と呼べる人が全体のおよそ2割はいるということでした。例えばその8割には給料分の働きしか期待できなくても、この2割の「人財」がいてくれれば、会社は少しずつ成長します。そんな「人財」が出てきてもらうためにも、まずは経営者自身がひたむきに働くべきではないでしょうか。そして、経営者であれば自分の欲求を満たすのではなく、お客様、スタッフ、さらに関わる人すべてに喜んでもらうために頑張つてほしい。自分のためだけに努力は空しいものです。最高の贅沢は、「人のため」にすることだと私は思います。

36年前、名古屋市郊外の約12坪の貸店舗、これがココイチの創業の地でした。いまや海外を合わせて店舗数1400店以上、素人経営者がやっただけでは奇跡ともいえることだと自負しています。未だに「自称3流経営者」だと思っている私実践してきた、独断と偏見に基づく経営哲学のいくつかを紹介します。

私は不動産関連の仕事に従事した後、25歳の時に名古屋市内で小さな喫茶店をオープンしました。当時、周囲の喫茶店ではモーニングサービスが流行っていて、昼間よりも安い値段でトーストやサンドイッチが食べられるのが当たり前でした。しかし私は、お客様に単に価格で喜んでもらうのではなく、笑顔であふれた店をつくりたいと思っていました。そこで、お客様が来た時は「お一人お一人を拍手喝采で迎える」ほどの気持ちで接客しようと思えました。以来、私はどうすれば郊外の小さな店でカレーを食べてもらえるかということだけを考え、創意



## 第3分科会レポート

# 徳川家康・宗春と名古屋の底力

今回の統一研修会の舞台となっている名古屋。第3分科会では、徳川家康と宗春の功績から見てくるこの地の魅力について、東海学園大学人文学部教授の安田 文吉氏にお話しいただきました。

### 講演者



### 安田 文吉 氏

やすだ・ぶんきち  
東海学園大学人文学部教授、  
南山大学名誉教授

1945年名古屋市熱田区生まれ。幼少より常磐津節や西川流日本舞踊などに親しみ、入学した名古屋大学でも、浄瑠璃や歌舞伎など伝統芸能を研究。75年名古屋大学大学院文学研究科博士課程修了後、南山大学文学部国語学国文科専任講師、文学部助教授を経て、89年に同学部教授、14年3月南山大学を定年退職、4月より東海学園大学教授となり現在に至る。92年「常磐津節の基礎的研究」(和泉書院)で第10回・田辺尚雄賞(東洋音楽学会)受賞。NHKテレビ「北陸東海 文さんの味な旅」などへの出演や講演など、活発な社会活動を行っている。主な著書に『ひだ・みの 地芝居の魅力(安田徳子氏との共著)』(岐阜新聞社)、『歌舞伎入門(安田徳子氏との共著)』(おうふう)など。

### 徳川家の財力を象徴する金の鯨

名古屋のシンボルともいえる名古屋城は徳川家康の命によって築されましたが、天守閣になぜ金の鯨が置かれたのかご存知でしょうか。そこにはきちんとした政治的、経済的な狙いがあったのです。

「戦いの後は経済」と考えていた家康は、天下を取った後、三男の秀忠に將軍の位を譲って江戸での政治を任せ、四男の松平忠吉を尾張藩主に据え、経済を

つかさどらせるという政経分離政策を行いました。ちなみに、江戸に幕府を開いたのは京都から距離を置くためです。家康は室町幕府が倒れたのは朝廷との二重政治になったことが原因だと考えていたためです。

当時、国内で経済的に最も栄えていたのは京都と大阪です。尾張(名古屋)はそこから近く、しかもまだ強大な力を持っていた豊臣勢に邪魔されない場所というところで、新たな経済の中心地に選ばれました。また、尾張

は日本のちょうど真ん中に位置していることから人の往来が盛んでした。そこに輝く金の鯨を掲げることににより、訪れる者に豊かな経済活動を印象付けるとともに、徳川家の財力を示すことで京都の公家などをけん制する効果があったのは間違いありません。さらに、徳川家は城下町にも数々の工夫を凝らし、碁盤の目状に配された都市は古くからさまざまな経済活動がスムーズに進むとされています。すし、中心部の次に下級武士の住居、その外側に寺町を置き、有事の際の防衛線としています。当時は寺や墓所を襲うとたたきがあるという強固な防壁があったので、町の入り口に寺や墓所があると、それだけで外敵にとつて精神的な障壁となつたのです。

### 宗春が行った革新的な施策

このように早くから繁栄に向けた仕組みが整えられていた名古屋ですが、それを発展させたのが、第7代尾張藩主・徳川宗春(1696〜1764年)です。宗春の時代はちょうど質素儉約を旨とした8代將軍・吉宗

の治世であり、尾張藩主就任時からいわゆる規制緩和政策を進めたことで放蕩者とされ、最近まで正当な評価を受ける機会がありませんでした。ですが、私は早くから宗春の行った施策が優秀だったと考えていました。

その政治思想は宗春自身が執筆した『温知政要』にみることでできます。同書に記された中でも代表的といつていいのが「万の法度号令」で、法度(規制)が多すぎると違反が増え、人の心は萎縮し、忠義の心が薄れるから必要最小限にして、あとは当事者に任せるのが良いという、宗春の考えが端的に述べられています。

また、宗春は年貢を五公五民から、四公六民としました。当然のことながら藩の財政はひっ迫しましたが、町人は豊かになりました。実際、宗春がこのような施策を講じてからわずか数年、カ月後には城下が活気を帯び、店が立ち並び、人々の往来が増えて、呉服から食べ物まで商いが盛んになったという記録が残っています。さらに農村部で大根、すいか、たばこ、煎茶など

の栽培が本格的に始まり、独自の産業が活性化したのもこの頃です。

宗春の行った諸政策を現代風にいうならば、規制緩和、減税、地場産業の保護・育成といったところでしょうか。しかも幕府が緊縮財政と規律を強いる中、地方において真逆の方針を貫き、見事に結果を出したのです。

宗春の時代には地場産業が発展しただけでなく、「いいモノを作れば売れる」という考えが根付いたのも大きいと思います。代表的な例では、地場産の木曾ヒノキを使った木工業があり、特に木桶は全国的な知名度を得ました。この木工技術に目を付けた(株)豊田自動織機製作所(現・(株)豊田自動織機)が、織機に使う木製工具の製造拠点に愛知県刈谷町(現・刈谷市)を選び、やがて世界屈指の自動車メーカーに成長していくのは、さらに時代が下つてからのことになりました。

以上のように、名古屋には長い時間をかけて整備された経済基盤があり、そのポテンシャルは侮れないのです。

# 懇親ゴルフ大会

参加者107名

# 記念旅行

参加者57名

11月7日、東海クラシックの開催コースとして知られる「三好カントリー倶楽部」で、総勢107名が参加し、懇親ゴルフ大会が開催されました。

同倶楽部は、丘陵地に造られ幅広くゆったりとした起伏が随所にある西コースと、距離的に短くも、くせのあるバンカーとグリーンがうまく配置された東コースから成り立ちます。格調高いクラブハウス、紳士淑女のスポーツの場にふさわしい礼儀を重んじる雰囲気の特徴です。

大会の結果は表の通りになりました。表彰式は、加藤敦司大会実行委員の司会



1.天候に恵まれ、清々しい秋空のもとプレー 2.単位会対抗戦で見事優勝を果たした中部会の先生方と石川 光男中部会会長(右) 3.西コース個人優勝の藤本 正義先生 4.東コース個人優勝の植田 順先生

## 【個人成績(西コース)】

順位	氏名	グロス	HDCP	ネット
1位	藤本 正義(四国会)	95	24.00	71.00
2位	太田 晶久(中部会)	83	12.00	71.00
3位	中畝 将博(中国会)	101	28.80	72.20

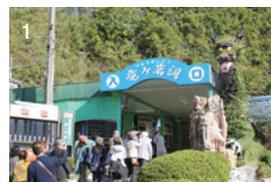
## 【個人成績(東コース)】

順位	氏名	グロス	HDCP	ネット
1位	植田 順(近畿会)	84	13.20	70.80
2位	一条 邦彦(北海道会)	98	26.40	71.60
3位	真野 耕治(近畿会)	92	19.20	72.80

## 【単位会対抗戦】

順位	単位会	ネット計
1位	中部会	216.4
2位	近畿会	216.8
3位	中国会	219.2
4位	東北会	225.6
5位	関東信越会	225.6
6位	沖縄会	227.2
7位	四国会	227.6
8位	北海道会	230.2
9位	九州会	235.6
10位	北陸会	240.4

でスタート。三浦利勝大会実行委員の開会挨拶の後、石川 光男中部会会長がプレゼンターとなり賞品授与が行われました。単位会、東西コースの個人優勝者からスピーチをいただき、北陸会の常山明夫先生の閉会の言葉で終了となりました。



今回の記念旅行は、11月7日から9日にかけて、静岡県を巡る2泊3日の行程で催されました。1日目は東海地方最大の観光鍾乳洞である竜ヶ岩洞や小堀遠州作で国指定名勝の庭園を持つ龍潭寺を観光し、バスの車窓から気賀関所を眺め、浜名湖でクルーズを楽しみ、スズキ歴史館で見識を深めるコース。道中、浜松市在住の中部会の先生がお迎えしてくださる場面もありました。この日は浜松市内のラグジュアリーな旅館、星野リゾート界 遠州に宿泊。2日目は、大井川鐵道(てつどう)のSL(蒸気機関車)に乗車し、沿線の風景を楽しんだ後、お茶にまつわる博物館、商業館、日本庭園などが一体となった施設、お茶の郷を観光しました。この日は天気の良い日には富士山を真正面に望むことができる日本平ホテルに宿泊。最終日は、徳川家康公ゆかりの史跡、久能山東照宮を訪れ、続いてお土産が買える焼津さかなセンターへ。そして、世界文化遺産構成資産である三保の松原に向かいました。その後、JR静岡駅に移動、散会となりました。

今回の記念旅行は、11月7日から9日にかけて、静岡県を巡る2泊3日の行程で催されました。1日目は東海地方最大の観光鍾乳洞である竜ヶ岩洞や小堀遠州作で国指定名勝の庭園を持つ龍潭寺を観光し、バスの車窓から気賀関所を眺め、浜名湖でクルーズを楽しみ、スズキ歴史館で見識を深めるコース。道中、浜松市在住の中部会の先生がお迎えしてくださる場面もありました。この日は浜松市内のラグジュアリーな旅館、星野リゾート界 遠州に宿泊。2日目は、大井川鐵道(てつどう)のSL(蒸気機関車)に乗車し、沿線の風景を楽しんだ後、お茶にまつわる博物館、商業館、日本庭園などが一体となった施設、お茶の郷を観光しました。この日は天気の良い日には富士山を真正面に望むことができる日本平ホテルに宿泊。最終日は、徳川家康公ゆかりの史跡、久能山東照宮を訪れ、続いてお土産が買える焼津さかなセンターへ。そして、世界文化遺産構成資産である三保の松原に向かいました。その後、JR静岡駅に移動、散会となりました。



1.竜ヶ岩洞の入口 2.美しい龍潭寺の庭園 3.吹き抜ける風が心地よい浜名湖でのクルーズ 4.知的好奇心をくすぐられるスズキ歴史館 5.ロマンたっぷりのSL 6.世界30カ国90種類のお茶を展示するお茶の郷 7.2日目の夕食は参加者全員でフルコース料理を堪能 8.国宝、久能山東照宮 9.富士山が望める景勝地、三保の松原

Empowered by Innovation **NEC**

# Windows Server® 2003の サポート終了が迫ってます。 いよいよ仮想化、サーバ統合のタイミングです。



本体サイズ:幅98mm×高さ341mm×奥行386.5mm  
(スクリーンオフ時)

**理由1** Microsoft® Windows Server® 2012 R2を  
インストール済み\*1  
仮想化技術 Hyper-V®でカンタン導入

**理由2** スリムなのに高い拡張性  
HDD最大6台\*2搭載で  
増大するデータに対応

サーバ統合を、カンタンに。

## Express5800 スリムサーバ

\*1 OS付きモデルの場合 \*2 2.5型HDDの場合

### インテル® Xeon® プロセッサー E3ファミリー搭載

Express5800 スリムサーバに関するお問い合わせは  
ファーストコンタクトセンター 03-3455-5800 受付時間:月~金(祝日を除く) 9:00~12:00 13:00~17:00  
Express5800 twitter公式アカウント @NEC\_Exp58\_PR

\*Intel, インテル, Intel ロゴ, Intel Inside, Intel Inside ロゴ, Xeon, Xeon Insideは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。\*Microsoft, Windows, Windows Server, Hyper-Vは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。



Express5800 20周年!お得なモデルはコチラから 詳しくは「得選街」  
www.nec.co.jp/store/sv/

Orchestrating a brighter world

世界の想いを、未来へつなげる。